



# 令和5年 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より市政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

昨年は新本庁舎の建築工事が完了し、10月11日に開庁の日を迎えることができました。関係者をはじめ、ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。



今年も、市へ寄せられる皆さまの期待をしっかりと受け止め、さらなる行政サービスの向上を図ってまいります。

また、昨年8月の大雨は市内各地に大きな爪痕を残しました。被害に遭われました方々には、改めてお見舞いを申し上げますとともに、復旧に向けた国の災害査定が終了したことから、今後復旧工事を着実に進めてまいります。



新型コロナウイルス感染症に対しましては、昨年9月からオミクロン株対応2価ワクチンの接種を開始しており、国の動向を注視しながら引き続き対応してまいります。

原油価格や、電気・ガス・食料品等の価格高騰への対策につきましては、家計への負担が大きい世帯などに対し、市独自の支援を行うなど、経済的負担の軽減を図ってまいります。

市政におきましては、「平川市ユース議会」から、地元企業への就職を促し定住に繋げるための事業と、若い世代の健康への関心を高めるための事業をご提案いただきました。



提案された施策の実施に向け検討を進め、地域の人財である若者の育成と、平川市への愛着心の醸成を図ってまいりたいと考えております。

本市の基幹産業である農業のりんご生産につきましては、昨年12月に行われたりんご品評会において、多くの部門で最高賞に輝き、生産者の意識や技術の高さを改めて実感したところであります。

米の生産につきましては、収入減少対策として、収入保険料の50パーセントを補助することで収入保険制度への加入を促進するほか、各種支援策を継続しながら、産地の維持や生産者の所得向上に努めてまいりたいと考えております。

保健福祉施策では、本年も引き続き「高血圧ゼロのまちモデルタウン事業」により、減塩指導や高血圧予防への啓発などを進め、重篤な病気の最大の原因である「高血圧」対策に取り組み、「健康長寿 青森県ナンバーワン」を引き続き目指してまいります。

本年も「あふれる笑顔 ぐらし輝く 平川市」の将来像に向け、各施策に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、穏やかで幸多い一年となりますよう、心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年1月  
平川市長 長尾 忠行

